

「若鯨会」

を知る

in 那古野

若鯨アワードを語る ～グループ例会にスポットを～

今回は、若鯨会14のグループのうち優秀な例会に授与する若鯨アワードについて、平成28年度に事業を立ち上げた元委員長石川和寛氏(写真右)、平成30年度事業継続を決断した代表幹事奥野幸一郎氏(写真中央)、事業をあたため改善に取り組む平成30年度委員長竹内理氏(写真左)に熱く語って頂きました。



Q 若鯨アワードを発案したねらいは?

石川: 若鯨アワードで各グループが切磋琢磨することによりグループ例会の質が向上します。グループが評価を受けると刺激が与えられます。若鯨アワードはその仕掛け。結果、各グループが例会の評価を意識するようになりました。若鯨アワードは誇りであり付加価値です。

Q 若鯨アワード立ち上げから3年目の今年度、代表幹事として事業を継続すると決断したのはなぜ?

奥野: 今年度の継続は昨年度の継続があつてこそ。事業は継続しないと真意はわかりません。継続して初めて若鯨アワードのよさがわかります。継続とともに、変えるもの、残すものを皆で議論していける土壌があることが若鯨会の魅力です。代表が変わっても根本の共有意識が継承されれば永く継承されていくと思います。

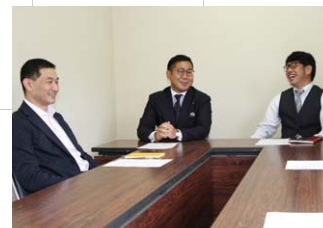


Q 年毎に改善され成長し続ける若鯨アワード。運営改善のために今年度行ったことは?

竹内: 審査基準を客観的に得点数値化しました。審査基準をつくることにより若鯨アワードの公平性を高めました。それがこの事業継続のカギとなります。何もないところから立ち上げ、事業を改善して次につなげていく、これが若鯨会ならではの自主運営のおもしろさです。

Q 若鯨会の入会を希望される方へメッセージをお願いします。

奥野、竹内、石川: 若鯨会活動の基本は、毎月のグループ例会にあると言われています。社業のご発展、自己研鑽のためにも、各グループ趣向を凝らした各例会を是非ご見学ください。各例会の中でも、そのグループの特色が一番出やすく意気込みが必ず伝わると思いますので、若鯨アワード対象例会を見学されることをお勧めしています。



「若鯨会」とは?

What is the "WAKASHACHI-KAI"?

満50歳未満の若手経営者が集う異業種交流団体。今年で36年目を迎える若鯨会は創立以来、自主運営で事業活動を行っており会員の相互啓発と企業の持続的発展、地域経済の活性化への寄与を目的に、業種の壁を超えて活動しております。14のグループ活動を基盤に、グループ間の交流、そして全体交流事業を組み合わせ、会員企業の経営力・技術力・情報力を活用し合って相乗効果を発揮しています。

新入会員募集中

資料請求はコチラ

お問い合わせ
お申込み先

名古屋商工会議所 中小企業部内 若鯨会事務局 担当/田中まで

Tel.052-223-5636 Fax.052-204-8521

詳しくはホームページにアクセスしてください。

<http://www.wakashachi.net/>

若鯨会

検索